

地方創生プロジェクトのご紹介

鳥取大学工学部
社会システム土木系学科

宮本善和



Contents

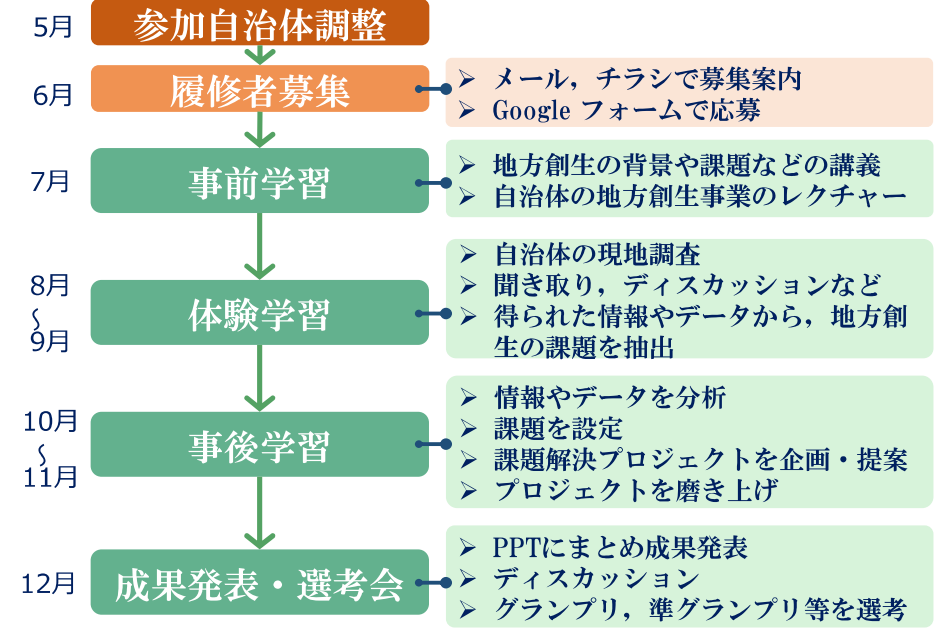
- 1. 目的と概要
- 2. 地方創生プロジェクトの流れ
- 3. 2023年度のプロジェク事例の紹介

1. 目的と概要

- ◆ 地方創生プロジェクトは、地域の課題解決に貢献する体験型の学習プログラムです
- ◆ 鳥取県内の各自治体の地方創生事業において、地域の課題への理解を深め、課題解決の方途を探っていきます
- ◆ 事前学習の上で、地域を訪問し、現地調査、聴き取り調査、情報やデータの収集、住民との意見交換を実施し、地方創生に向けた課題を読み解いていきます
- ◆ そして、課題解決に貢献するプロジェクトを企画・提案します



2. 地方創生プロジェクトの流れ



体験学習（各自治体）

地方創生事業の現場で調査をします



↑ 現場見学、住民への聞き取り

← 担当職員へのヒアリング

成果発表会 →

3. 2023年度のプロジェクト事例の紹介

<p>■大山町 NFTを活用した地域自主組織応援プロジェクト</p>	<p>■琴浦町 SNSによる女子っ旅プロモーションプロジェクト</p>	<p>■北栄町 (A) 町道を丁度よくプロジェクト</p>
<p>■北栄町 (B) まなぶ・つながる・持続可能な水路へプロジェクト</p>	<p>■日南町 たったもカードの利用分析プロジェクト</p>	<p>地方創生プロジェクト</p>

成果発表・選考会

講座の若手の先生などに発表し、ディスカッション



↖ ↑ 成果発表

投票 ↗

ディスカッション →

← 表彰

大山町プロジェクト

NFTを活用した 地域自主組織 応援プロジェクト

抜粋版

大山町について | 強み



大山

言わずと知れた**大山町の象徴**
町外からも多くの観光客が訪れる

地域のつながり

10の地域自主組織は各地域内外のつながりを深め、地域の活性化を図っている

日本海

美しい景色と豊富な水産資源で大山と双璧をなす存在
もっと魅力をアピールしたい

大山町について | 課題へのアプローチ



大山町の強み(大山、地域のつながり、日本海)を活かしつつ、そこに**新しいアイデア**を掛け合わせて課題(人口減少、自主財源、住民参加)の**解決**を目指す

大山町について | 課題

年々加速する人口減少

- ・10年連続で人口が減少中
- ・**少子高齢化**が町の課題
- ・難しい課題だが、町の活気を維持するために取り組み必須

地域自主組織の自主財源

- ・現在地域自主組織の活動資金のほとんどは**依存財源**
- ・持続可能な活動を行うために**自主財源の確保が必要**
- ・自主財源の確保により、自主組織の活動の自主性と安定性を確保することができる

まちづくりへの住民参加

- ・まちづくりに積極的に参加する住民はまだ少ない
- ・特に**若い世代の参加**が組織の課題
- ・まちづくりに住民が参加することにより住民と行政の信頼関係を構築することができる

NFTとは | 概要

「Non Fungible Token」の略
日本語にすると… **非代替性トークン**

非代替性…替えが効かない、唯一無二のトークン…**ブロックチェーン**技術を利用して発行された暗号資産の総称

NFTとは…

唯一無二の資産価値を付与され、その所有権を主張できるようになったデジタルデータ



NFTとは | 自治体での利用事例

ふるさと納税NFT

日本各地の様々な自治体でふるさと納税を行い、納税者は**その返礼品としてNFTアートを得ることができる**

上士幌町の体験型映像NFT

北海道上士幌町で行われたドローンショーの**映像をNFT**にして販売した例

山古志村の電子住民票NFT

新潟県長岡市山古志村で行われている同村が発祥の地である錦鯉をデザインした**デジタル住民票をNFTとして販売**



大山町プロジェクト

14

大山一木一石NFT | 概要

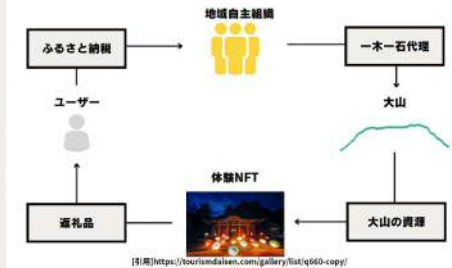
【一木一石NFTとは】

一木一石運動とNFTを組み合わせた仕組み

【一連の流れ】

誰かがふるさと納税で一木一石NFTに納税
↓
返礼品として**体験NFT**を得る
↓
納税金の一部が**地域自主組織の活動費**となる
↓
地域自主組織は代理**一木一石運動**を行う

【ビジネスモデル図】



大山町プロジェクト

28

大山一木一石NFT | 概要

【一木一石運動とは】

登山者によって踏み荒らされた大山を保全するために1985年から始まった運動

【一連の流れ】

登山者が植物の苗や石を持って大山に登る
↓
苗や石を用いて山頂付近の環境を保全
↓
山頂に緑を取り戻す

運動開始前の
大山山頂付近



2009年の
大山山頂付近



大山町プロジェクト

27

大山一木一石NFT | 概要

体験NFT...動画やライブ配信映像を視聴する権利をNFT化したもの

体験NFTの候補

大山の大献灯(8月)



大山夏山開き祭・前夜祭(6月)



大山町プロジェクト

29

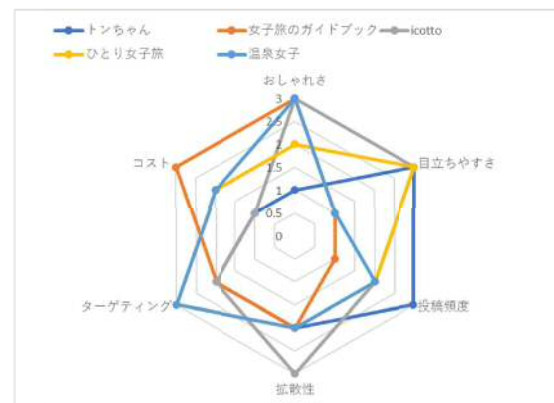
地方創生プロジェクト 琴浦町



抜粋版



3. SNSアカウントの分析



3. SNSアカウントの分析

・ icotto(いこっと)～旅行・一人旅・女子旅～
 投稿数 480件 フォロワー数 8.2万人
 投稿頻度 一週間に一度

- ・ アカウントの名前が旅行・一人旅・女子旅など検索でヒットしやすいワード
- ・ #icottoをつけた投稿を促し、フォロワーにicottoを広めてもらうようにしている
- ・ インスタ映える写真を模様や温かみのあるフォントでさらに加工し、おしゃれながらも情報が伝わりやすい
- ・ ハッシュタグ



3. SNSアカウントの分析

＜琴浦町のInstagramに活用したいこと＞

- ・ 「#女子っ旅」のキーワードを広げる
- ・ おしゃれさと目立ちやすさを訴求するため、写真を色や形のトーンをそろえて演出する
- ・ 投稿頻度を上げ、投稿する曜日を固定にする
- ・ 適度な旅行予算を書き添える



5. 自分たちで作った投稿の紹介



5. 自分たちで作った投稿の紹介



福部町のまちづくり 構想について

福部町総合支所
地域振興課

I 現在の状況

1. 福部町とは

- ▶ 人口 2,654人
 - ▶ 世帯数 1,049世帯
 - ▶ 集落数 21集落
- R6.4.1現在
- ▶ 位置 鳥取市北東部



鳥取砂丘



らっきょうの花



鳥取砂丘らっきょう
ふくべ砂丘らっきょう

砂丘らっきょう



二十世紀梨

2. まちづくり構想とは

- ▶ 策定の経緯
平成29年度に、鳥取市総合政策調査委託事業で鳥取大学地域学部にて調査業務を委託し、策定。
- ▶ 構想の7つの柱
 - ① 福部中心部の中心地機能の拡充
 - ② 山陰自動車道の新インターチェンジの設置
 - ③ 新インターチェンジ付近への道の駅等の設置
 - ④ 新たな道の駅等と福部町中心部の中心地機能の関係
 - ⑤ 町内移動手段の改善
 - ⑥ 塩見川の治水対策の強化
 - ⑦ 居住促進の取組

3. まちづくり構想基本計画とは

▶ 策定の経緯

平成30年度に、鳥取市福部町総合支所と福部地域振興会議で、同構想の実現に必要な基本計画を策定。（令和5年度に2期計画に改訂）

▶ 計画の8つの施策

- ① 山陰近畿自動車道の新インターチェンジの設置
- ② 新インターチェンジ付近への道の駅等の設置
- ③ 新たな道の駅等と福部町中心部の中心地機能の連携
- ④ 福部中心部の中心地機能の拡充
- ⑤ 町内移動手段の改善
- ⑥ 居住促進の取組
- ⑦ 塩見川等の治水対策の強化
- ⑧ 防災・防犯対策の充実



まちづくりワークショップ開催状況(H30)

4. 5年間の取組の成果（進捗した取組）

- ▶ ④ 福部中心部の中心地機能の拡充
 - ・ 総合支所の耐震化と複合化
 - ・ 山陰本線福部駅による鉄道利用促進
- ▶ ⑦ 塩見川等の治水対策の強化
 - ・ 塩見川河川改修事業の実施
- ▶ ⑧ 防災・防犯対策の充実
 - ・ 防災施設の整備と防災活動の強化
 - ・ 通学路防犯灯の充実



JR福部駅



塩見川河川改修事業



鳥取市消防団福部地区団

主にハード整備が進捗した。

5. 進捗しなかった取組と主な要因

- ▶ ① 山陰近畿自動車道の新インターチェンジの設置
- ▶ ② 新インターチェンジ付近への道の駅等の設置
- ▶ ③ 新たな道の駅等と福部町中心部の中心地機能の連携
 - ⇒ 一大事業で短期実現が困難
- ▶ ⑤ 町内移動手段の改善
 - ⇒ コロナ禍で人の移動が制限
- ▶ ⑥ 居住促進の取組
 - ⇒ コロナ禍でお試し住宅が廃止



山陰近畿自動車道



砂丘商店街閉鎖(R2)



お試し住宅

Ⅱ 今後の進め方

1. 総合支所の考え方、進め方

- ▶ 進捗しなかった取組の要因をさらに調査する。
- ▶ 進捗した取組についても、さらに前進させるための方策を探る。
- ▶ 進捗しなかった取組については、その要因を踏まえ、今後の継続について判断する。(スクラップ)
- ▶ 時代の変化を捉え、特に若者の意見をいただきながら、新たに取り組むべき課題があれば、取り入れる。(ビルド)

こうした考え方や進め方に問題が無いか、まずはご意見をいただきたい。

2. まちづくり構想の全体スケジュール

			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目		
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
まちづくり構想	策定		10年間											
基本計画		策定	5年間					5年間						
実施計画			3年間			3年間			3年間			3年間		
備考					第2期実施 計画策定			第2期基本 計画策 定、実施 計画見直 し						
地域振興会議	平成27年度から10年間													

3. 地域振興会議とは

令和5年度～6年度福部地域振興会議委員名簿			
No.	氏名	備考 (現職、前職等の略歴)	備考
1	上山 弘子	福部未来学園地域創造学校運営協議会長	会長
2	中川 玄洋	公募(NPO法人bankup代表理事)	副会長
3	宇山 英俊	福部町区長会長	
4	谷口 孝義	福部まちづくり協議会長	
5	岸本 正枝	鳥取市公平委員	
6	中島 幹夫	鳥取市交通安全指導員会福部地区会長	
7	西尾 祥幸	未来へつながらつきょう将来ビジョン研究会代表	
8	西田 一幸	福部地区民生児童委員協議会長	
9	濱田 香	鳥取市農業委員会会長	
10	松田 浩稔	鳥取大砂丘観光協会会長 砂丘センター支配人	
11	岩崎 幸子	公募(福部アイデア館管理運営協議会長)	
12	加藤 美幸	公募(鳥取県漁協福部支部海女)	

- ▶ 鳥取市の一体的な発展に資する新市域の振興のため、合併前の旧町村区域単位に条例で設置された会議体
- ▶ 定員12人の委員が、年8回程度の会議を通じて、地域の課題解決に向けた議論をしている。

地域振興会議は令和6年度末で廃止となるが、地域住民が主体となって地域の課題を議論する場の設置要望は根強く、令和7年度からは、要綱設置の新たな会議体が立上り、引き続き、地域課題が議論される予定。

大学と行政等で、まちづくり構想の進捗状況を共有し、今後のまちづくりに大学生（若者）の意見をいただきますよう、ご協力をお願いします。